

臨床研究「多発転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療に用いる治療装置および照射技法の違いが正常脳の線量に及ぼす影響」共同研究に関する情報公開文書

当院は多根総合病院放射線治療科が行う臨床研究「多発転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療に用いる治療装置および照射技法の違いが正常脳の線量に及ぼす影響」に協力しています。研究に関する詳細は以下の内容を確認してください。なお、本研究は近畿大学医学部倫理委員会で審査され、承認を受けたうえ、医学部長による実施許可を得て行われます。

① 情報の利用目的及び利用方法

この研究では、放射線治療装置の違い、および照射技法の違いによって転移性脳腫瘍患者の治療計画の品質が変化するかどうかについて調べることを主な目的としています。そのため、多根総合病院で転移性能腫瘍に対する治療を受けられた患者様のうち、強度変調放射線治療技法を用いた定位放射線治療をした方を対象として、通常診療で得た情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないようにした上で、個人情報に関しては、厳重に管理します。なお、個人識別情報を除く情報はコンピュータの外部記憶装置に保管し、以下の施設と共有します。

研究代表機関名：多根総合病院

共同研究機関名：大阪国際がんセンター、宝塚市立病院

② 提供を受ける情報の項目

- 画像データ（computed tomography（CT）画像）
- 輪郭情報（病変部位と正常組織の位置情報および形状情報）

③ 利用又を開始する予定日

近畿大学医学部長による実施許可日（2023 年 11 月 27 日）

④ 情報の提供を行う機関（提供元）の名称及びその長の氏名

機関名：多根総合病院 施設長：小川 稔

⑤ 提供を受ける情報の取得の方法

多根総合病院において転移性脳腫瘍に対して定位放射線治療を実施する際に撮影された CT 画像、及び治療計画作成の過程で行われた腫瘍および正常臓器の輪郭描出の結果を取得し、匿名化したうえで利用します。

⑥ 提供を受ける情報を用いる研究に係る研究責任者の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称

研究代表者：川守田 龍 所属：多根総合病院放射線治療科

⑦ 利用する者の範囲

研究代表者（川守田 龍）の指示のもと、各研究共同施設の研究分担者が当該情報を利用します。

⑧ 情報の管理について責任を有するものの氏名又は名称

多根総合病院

近畿大学医学部

本研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「お問い合わせ先」へご照会ください。

[お問い合わせ先：当院の窓口]

近畿大学病院 放射線治療科

当院研究責任者 松尾 幸憲

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東 377-2

電話：072-366-0221（代表）（平日 9:00～17:00）

[お問い合わせ先：研究代表機関]

多根総合病院 放射線治療科

研究代表者 川守田 龍

〒550-0025 大阪府大阪市西区九条南 1-12-21

電話：06-6581-1071（代表）（平日 9:00～17:00）

以上